

# 女性委員会通信

2013.9.20

東京都港区新橋六 七 一 川口ビル六階  
全国労働組合連絡協議会 女性委員会  
TEL 〇三 五四〇三 一六五〇  
FAX 〇三 五四〇三 一六五三

## 露骨な「企業のための派遣法」への改定はNO！ 大きく運動を拡げよう！

「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律」と労働者保護が法の名称になったものの自公の修正を入れた結果、大部骨抜きになった派遣法は昨年10月に施行になったばかりだ。労働契約みなし制度（違法な派遣が発生した場合には派遣先が派遣労働者に対し、直接雇用の申し込みをしたものとみなす）は2015年10月施行とまだ実施もされていない。それなのに安倍政権は労働者派遣法改正を成長戦略に明記し、「世界で一番企業が活動しやすい国」にむけて派遣法改悪を2013年度中に行おうとしている。

昨年12月に始まった「今後の労働者派遣制度の在り方に関する研究会」は8月20日、派遣労働拡大につながる報告書を提出した。その主なポイントは26の専門業務区分の廃止、派遣元と無期雇用の労働者は期間の制限なしに、派遣元と有期雇用の労働者は3

年上限、というもの。従来26業種以外はその業務につき最長3年が上限で（途中で労働者が代わっても合計で3年）、臨時的な業務のみ派遣をという考え方からの大転換である。更に改定されたばかりのマージン率の公表や「もっぱら派遣」の8割規制の見直しも上がっている。報告どおりなら企業は、人を代えてずっと派遣労働を使い続けることができるようになり、「正規の常用代替防止」という基本が崩されるということになる。

8月30日には労働政策審議会職業安定分科会労働力需給制度部会が始まり、次回が9月17日と早いペースで検討が行われている。世界で一番企業が活動しやすい国を目指して、労働者が物のように扱われ、人権が蔑にされることを認めるわけには行かない。

労政審開催にあわせ、派遣法全面改悪反対の抗議行動に参加しよう！

## 闘う女たち 大集合！

### 全労協女性委員会

### 第23回総会・交流会へ参加を

女性委員通信も200号を発行することができました。今年は「闘う女たち大集合！」をテーマに開催します。みんなで女性たちの闘いを共有化していきましょう

日時 11月22日（金）18時半  
会場 全水道会館中会議室（水道橋）



### 10・3女性委員会

### 憲法学習会のお知らせ

集団的自衛権行使に道をひらくことと内閣法制局長官の首をすげ替えた安倍政権。改憲の気配がつよまっています。自民党の改憲草案は一体どんなものなのか？ ザ・ニューススピーカー出演のDVDを観て、みんなで討論・交流しましょう。

日時 10月3日（木）19時  
会場 全労協の会議室にて（新橋）  
軽食交流会費 千円

## 郵政産業労働者ユニオン第2回女性部大会開催

7月13、14の両日、郵政産業労働者ユニオン第2回女性部大会が開催され、北海道から九州まで、全国各地の代議員が参加し活発な討論が行われました。女性部は、昨年9月に統一大会を開催し、新たな一步を踏み出しました。全労連女性部、全労協女性委員会に結集し、健康で人間らしく働ける職場をつくるために頑張っています。

はじめに郵政産業労働者ユニオン中央執行委員会を代表して松岡副委員長が「どの職場も要員不足、パワハラ等が横行している。組織統一から1年、労働者の要求をしっかりと受け止め、実現するために頑張ろう」とあいさつ。また来賓の全労連小畑女性部長からも「憲法守ろう、原発ゼロへ」と連帯のあいさつがありました。全労協女性委員会からのメッセージも読み上げられました。

各職場の実態報告では「きつい配達業務」「過大な営業ノルマ」「要員不足」「新一般職」問題などが語られ、怒りを共有するとともに職場要求を実現する中で組合員を拡大するなどの成果も報告されました。これからも女性たちの意見、要求に耳を傾けさせ、仲間と助け合いながら働き続けつづけることができる職場をつくるために頑張りましょう。（郵政産業労働者ユニオン女性部 国富泰子）





**東京全労協  
松代大本営跡&無言館への  
学習交流会に参加して**

「戦跡」、沖縄と本土ではその意味は大いに違う。沖縄では民間人が軍に連れまわされ追立てられて多くの人が犠牲になった戦地だ。その戦跡巡りをしたいがまだしてない。本土では、広島、長崎への原爆や東京大空襲で犠牲者も多いが、今戦跡というと軍の跡地だ。以前沖縄首里城の日本軍の壕を見たことがある。大事な史跡を穴ぼこにしての壕は、場当たりのな感じでその後の沖縄の惨状を予測させるように思えた。だから、日本軍の戦跡は好んで見たいとは思わなかったが、昨年の千葉への学習会で話を聞いて、今回は行きたいと思った。戦死した画学生の絵を集めた無言館へも行きたかった。



長野松代の大本営地下壕は太平洋戦争末期、昭和19年11月から終戦まで、本土決戦の最後の拠点として大本営、飯皇居、NHK、政府機関を移す目的で3つの山に総延長10Kmの地下壕が碁盤の目のように掘られ、その一部象山地下壕の5000mだけが公開され、

**JAL客乗裁判 高裁証言で  
整理解雇の狙いがくっきり！**

9月12日10時からJAL客乗裁判の待ちに待った証人尋問が行われた。最初にキャビンクルーユニオン（CCU）小栗執行役員が2010年9月以降の労使協議で明らかになった要員数を具体的に追いながら、解雇の2010年12月末では新体制に必要な要員4120名（2011年3月末）に対し、有効人員は4042名で整理解雇は必要なかったことを証言した。3月まで待つと整理解雇がしにくくなることを見越してのCCU狙い撃ちの解雇だったことが鮮明になった。裁判長もメモをとるなど熱心聴いていた。



2番手は元CCU副委員長の深田さん。深田さんは会社がCCUが提案した有効な解雇回避策を何ら検討せず、従来の労務政策のままにCCU組合員をこの際職場から排除するために行った不当労働行為であることを証言した。3番手は病欠基準で解雇になった大森さん、4番手は年齢基準で解雇となった久保田さんが、それぞれの被害と意見を声を詰まらせながら証言した。会社側の反対尋問はほとんど取るに足らないものであった。

証言からみれば、これで勝たないはずはない。が一審東京地裁の政治的不当判決を考えると世論や運動を大きくしていくことが必要だ。乗員裁判は26日にある。年内結審にむけて、原告団は10月25日に大集会を予定し、今参加要請に回っている。JAL争議勝利にむけ「JAL闘争を支える会」への加入もよろしく！！（柚木）

**私のお気に入り！**

**歌ってハッピー**

私の住むマンションには四つの棟があります。その中で、四人の女性と語らって月に二回みんなで歌う会を始めて3年が過ぎました。幸いグランドピアノがある音楽室が借りられるので、参加費は財布に優しい100円ぽっきりです。これが長続きの秘訣の一つかもしれません。



9月は3周年記念ということで、場所をパーティールームに変え、お茶と仲間の手作りのケーキ、参加者のおもたせのお菓子をいただきながら、歌の会のハッピーバースデーをしました。みなさんからのリクエスト各3曲、計34曲も歌いました。

さて、四年目の第一回は10月7日。曲目は私たち五人で選びます。秋だからとか、藤圭子を悼んでとか、黒一点の方を含め10人余りの方々の顔を思い浮かべ、あれやこれや言いながら「どんぐりころころ」から「圭子の夢は夜ひらく」をはさんで「いちご白書をもう一度」までの11曲を選びました。

歌の前の軽い体ほぐしと曲の解説が私の担当。インターネットで調べながらMC作りも楽しんでいきます。

全石油スタンダード・ヴァキューム労組 たけうちかつこ

死守せよとのことで悲惨な沖縄の状況があり、めどがついたとの連絡を受けて翌日沖縄の牛島満大將は自決したという。沖縄は戦時中から今まで本土の盾にされている。この工事は大勢が決した後の逃げ込み場としか思えない。戦争が続いていたら本土も沖縄と同じ状況が生まれていたのではないだろうか。

無言館では、この人が大成した時の絵を見たかったなという絵をはじめ、いろんな思いを込めて描いただろうと探り探り見た。この人たちは私たちがこうしてメッセージを伝えることができるけど、それ以外の若者たちは？戦場で亡くなった多くの人たちの思いは誰にどういう風に伝えられただろうと。

今日見てきたこと、感じたことをどう考え伝えるかが、あとを託された私たちの課題ではないだろうか。

（全石油昭和シェル労組 坂本敦子）

**アジア女性交流会のお知らせ**

10月26日～27日、女性非正規雇用の実態と組織化の実践 若い女性の雇用問題と運動を共通のテーマとして、アジア4カ国（韓国、香港、インド、日本）の女性が日本に集まり、交流プログラムが開催されます。女性委員会も実行委員会に参加。27日午後はオープンミーティングです。是非参加しましょう。

日時 10月27日(日)13時30分～17時  
会場 明治大学研究棟2F第9会議室  
参加費 資料代500円